

管内関係機関 担当者 様

感染症発生動向について

このことについて令和6年第44週(10月28日～11月3日)の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(1医療機関当たりの平均報告数)

感染症の種類	県北保健所管内(平戸市、松浦市、佐々町)			長崎県	全国
	42週	43週	44週	44週	44週
インフルエンザ	0.25	0	0	1.53	1.04
新型コロナウイルス感染症	0.50	1.25	0.25	0.69	1.57
RSウイルス感染症	0	0	0	0.02	0.26
咽頭結膜熱	0	0	0.33	0.20	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.00	1.33	2.73	1.91
感染性胃腸炎	1.67	0.67	1.67	1.68	2.78
水痘	0.33	0	0	0.09	0.16
手足口病	●9.00	●11.67	●7.67	●4.25	7.70
伝染性紅斑	0	0	0	0.16	0.37
突発性発疹	1.00	0.33	0	0.18	0.25
ヘルパンギーナ	5.00	●7.00	●2.67	0.41	0.19
流行性耳下腺炎	0	0	0	0.05	0.04
急性出血性結膜炎				0	0.01
流行性角結膜炎				0.50	0.49
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.02
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.04
マイコプラズマ肺炎	0	0	1	2.50	2.46
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0

●:警報レベル ▲:注意報レベル

【トピックス】

手足口病が流行しています

手足口病は、その名のとおり四肢及び口腔内に水疱性の発疹を生じる疾患です。乳幼児での発生が多く、例年報告数の9割程度を5歳以下が占めますが、大人でも感染する可能性があります。

主として咳やくしゃみなどのしぶきを介した飛沫感染や、飛沫や便に含まれるウイルスが手指を介して口から侵入する接触感染により広がります。主な原因ウイルスとしてコクサッキーウイルスA6(CV-A6)、CV-A16、エンテロウイルス71型(EV-A71)が知られています。

基本的には予後良好な疾患ですが、原因ウイルスによっては、中枢神経系合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を併発することがあります。

第44週の報告数は187人で、前週より36人少なく、定点当たり報告数は「4.25」ですが、警報レベルの報告数が20週間継続しています。定点当たり報告数の多い保健所は、対馬保健所(15.00)、県北保健所(7.67)、佐世保市保健所(6.00)で、10保健所のうち6保健所で警報レベルの報告数が継続しています。

年齢別では1歳(58人)、2歳(28人)、3歳(27人)の順に多いです。

今後も手洗い、うがいを励行し、感染防止に努めましょう。

【トピックス】

インフルエンザに注意しましょう

令和6年第44週の長崎県全体のインフルエンザの定点当たり報告数が「1.53」で、7週続けて増加しました。地区別にみると、長崎地区(4.24)、五島地区(2.00)、西彼地区(1.17)、県南地区(1.13)は他の地区より多く、「1.00」を超えています。

インフルエンザの流行期に入り、今後患者数の増加が懸念されます。手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、流行に備えて、ワクチンを接種しましょう。

(参考)長崎県感染症情報センター「インフルエンザ」